

令和2年度 第2回 甲賀市地域公共交通活性化協議会 次第

・日 時 令和3年2月17日（水）

14：00～14：45

・場 所 水口中央公民館 1F 鹿深ホール

【開 会】

1. 挨拶

2. 議 事

（1）報告事項

報告第1号 委員の選出および変更について

報告第2号 令和2年度事業進捗について

報告第3号 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗について

3. そ の 他

甲賀市公共交通連携時刻表の作成について

【閉 会】

総会終了後、15：00より、自動車部会を開催いたします。

【報告第1号】 委員の選出および変更について

委員の選出および変更について

1. 委員の選出について

書面決議時点において、委員選出中でありました甲賀市区長連合会、甲賀市PTA連絡協議会につきましては、下記のとおり委員が決定いたしましたので報告いたします。

甲賀市区長連合会 西田 博 (監査委員)

甲賀市PTA連絡協議会 加藤 喜代重

2. 委員の変更について

所属されている組織の人事異動等により、下記の委員に変更がありましたので報告いたします。

滋賀県土木交通部交通戦略課 北川 雄司

信楽高原鐵道株式会社 松田 直通

私鉄労働組合滋賀県協議会 田中 徳

甲賀市地域公共交通活性化協議会 委員 (令和2年11月16日現在)

令和2年度

役 職	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	甲 賀 市	副 市 長	正 木 仙 治 郎	
副 会 長	甲 賀 市 建 設 部	部 長	寺 村 弘	

【委員】						
	分 野	機 関 及 び 団 体 名	職 名	氏 名	自動車部会	備 考
1	所 管 運 輸 行 政	国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局	首席 運輸企画専門官	酒 井 敏 一	○	
1	広 域 交 通 行 政	滋賀県土木交通部交通戦略課	参 事	北 川 雄 司	○	R2.11.16より 委嘱
1	道 路 管 理 者	滋賀県甲賀土木事務所	所 長	北 川 純 二	○	
1	所管警察（交通）	滋賀県甲賀警察署交通課	交通課長	中 井 拓	○	R2.4.1より委 嘱
2	学 識 経 験 者	立 命 館 大 学 理工学部都市システム工学科	教 授	塚 口 博 司	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 区 長 連 合 会	会 長	西 田 博	○	監査委員
3	市 民 代 表	ゆ う ゆ う 甲 賀 ク ラ ブ	副会長	箭 田 庄 之 助	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 身 体 障 害 者 更 生 会	会 長	増 田 定 雄	○	
3	市 民 代 表	甲 賀 市 P T A 連 絡 協 議 会	会 計	加 藤 喜 代 重	○	R2.4.1より委 嘱
3	関 係 団 体 （ 福 祉 ）	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会	法人運営部長	本 馬 よ う 子	○	R2.4.1より委 嘱
3	関 係 団 体 （ 商 工 ）	甲 賀 市 商 工 会	事務局長	吉 川 徹	○	監査委員
4	鉄 道 事 業 者	西 日 本 旅 客 鉄 道 株 式 会 社 近畿統括本部京都支社地域共生室	室 長	野 口 明		
4	鉄 道 事 業 者	近 江 鉄 道 株 式 会 社	鉄道部長	遠 藤 賢 一		R2.4.1より委 嘱
4	鉄 道 事 業 者	信 楽 高 原 鐵 道 株 式 会 社	常務取締役業務部長	松 田 直 道		R2.7.1より委 嘱
4	バ ス 協 会	一 般 社 団 法 人 滋 賀 県 バ ス 協 会	専務理事	野 村 義 明	○	
4	タ ク シ ー 協 会	一 般 社 団 法 人 滋 賀 県 タ ク シ ー 協 会	専務理事	濱 田 隆 久	○	
4	一 般 乗 合	滋 賀 バ ス 株 式 会 社	代表取締役	隠 岐 公 史	○	
4	一 般 乗 合	株式会社シガ・エージェントシステム	代表取締役	松 岡 政 敏	○	R2.4.1より 職名のみ変更
4	一 般 乗 合	帝 産 湖 南 交 通 株 式 会 社	顧 問	中 島 敏	○	
5	一般旅客自動車運送事業者の事業用自 動車の運転者が組織する団体	私鉄労働組合滋賀県協議会	幹 事	田 中 徳	○	R2.9.15より 委嘱
6	一 般 乗 用	滋 賀 タ ク シ ー 株 式 会 社	業務課 課長	山 本 義 行	○	
6	一 般 乗 用	近 江 タ ク シ ー 株 式 会 社	所 長	清 水 将 雄	○	R2.4.1より委 嘱
6	一 般 乗 用	た ぬ き タ ク シ ー 株 式 会 社	取締役	林 輝 彦	○	R2.4.1より委 嘱
6	一 般 乗 用	株式会社ビジネスサービス滋賀	専 務	田之上 孝義	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 総 合 政 策 部	次 長	柚 口 浩 幸	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 産 業 経 済 部	次 長	細 井 享	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 健 康 福 祉 部	次 長	西 田 薫	○	
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 教 育 委 員 会 事 務 局	次 長	山 本 英 司	○	R2.4.1より任 命
7	甲 賀 市 職 員	甲 賀 市 建 設 部	次 長	樋 口 泰 司	○	R2.4.1より任命 (自動車部会長)
事務局		甲 賀 市 建 設 部 公 共 交 通 推 進 課	課 長	田 村 勝 也		事務局長
			係 長	中 村 正 太		
			主 事	服 部 淳 平		
			主 事	小 野 山 忠 司		
			主 事	田 中 亮 平		

令和2年度事業進捗について

【基本方針】

「甲賀市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域公共交通を将来にわたって「住みよさと活力を支え、使いやすい地域公共交通」として維持・確保してまいります。

- (1) 分かりやすく使いやすい運行体系への再編
- (2) みんなの移動を支え、環境にもやさしい地域公共交通の確保・維持

【事業進捗】

(1) 「甲賀市地域公共交通網形成計画」の進捗管理について

- ・今年度実施しました市民意識調査の集計が2月にまとまりましたので、現在、計画の評価を行っております。（交通関係の調査結果抜粋は、別冊「資料1」に添付）
- ・令和5年度の路線再編を見据え、来年度から令和4年度にかけて計画の見直しを行います。

(2) 分かりやすく使いやすい地域公共交通網への再編について

- ・利用状況に応じた効率的な運行を行うため、今年度「乗降センサー」を設置し、3月1日より運用を始める予定であります。
- 設置により、バス停ごとの利用状況を把握することができますので、利用状況に応じたダイヤ調整や効率的な路線再編の検討材料とします。

(3) 乗り継ぎ等利便性の向上について

(4) わかりやすい情報提供と認知度向上による利用促進について

- ・ICT 担当部局と連携し、バスロケーションシステム、主要バス停4か所にデジタルサイネージを設置し、3月1日よりサービスを開始いたします。
 - ・昨年9月より、グーグルマップによる路線検索ができるようになりました。今後は、他の乗換案内サービスでもご利用いただけるよう調整を進めております。
- （開始するサービスの内容は、別冊「資料2」に添付）

系統番号 / System No.	行先 / Destination	経由地 / Waypoint
6:50 1	田村神社行 For Tamura Shrine	新水口～大野～近江土山 Shinokuchi ~ Ono ~ Omi Tsutsi
6:55 0	貴生川渡船 Kasegawa Ferry	生野～山一～船中 Ikuno ~ Yamachi ~ Funakura
6:56 3	南センター行 For Minami Center	生野～生野中心 Ikuno ~ Ikuno Center
7:18 3	南センター行 For Minami Center	生野～生野中心 Ikuno ~ Ikuno Center
7:30 2	和野行 For Wano	甲賀市役所～水口～栗田～堀地 Koka City Hall ~ Mizuki ~ Kurita ~ Horiuchi
7:30 1	大岡原行 For Oogahara	新水口～田村神社～栗川～ダイヤモンド温泉 Shinokuchi ~ Tamura Shrine ~ Kurikawa ~ Diamond Onsen
7:45 2	八田行 For Yata	甲賀市役所～甲賀～甲賀病院～第二水口 Koka City Hall ~ Koka ~ Koka Hospital ~ Nishino
7:56 3	甲賀病院行 For Koka Hospital	甲賀市役所～甲賀～古堤が丘 Koka City Hall ~ Koka ~ Furukitaoka

（４） 人と環境にやさしい地域公共交通づくり

・将来を担う子供たちに、公共交通を身近に感じてもらえるよう、市内小学校で交通環境学習を行いました。（市内小学校3校）



（券売機の操作方法についての授業）

（５） 新型コロナウイルス感染症対策の実施

・お客様に安心してご利用いただけるよう、手がふれる機会が多い箇所に抗菌コーティングを実施しました。

※実施箇所：鉄道駅（JR 5 駅・信楽駅）、信楽高原鐵道・コミュニティバス車内、近江土山駅



（信楽高原鐵道車内の作業状況）



（寺庄駅の作業状況）

近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗について

年度当初の書面報告の折に、近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の進捗について報告いたしましたが、その後の協議会での決定事項及び県および自治体間での費用負担や運営形態に関する調整の進捗と今後の予定について報告します。

1 運営形態について

- ・令和6年4月に公有民営の上下分離方式による鉄道運営に移行する。
- ・令和4、5年については、「上下分離への移行期間」とし、上下分離運営体制の準備、近江鉄道の経営改善に取り組む。
- ・令和4年から、近江鉄道の鉄道事業に対し、県、沿線市町による財政支援を開始する。

2 費用負担について

- ・令和4、5年・・・近江鉄道が実施する施設や設備の修繕、改良更新費を支援。
(支援額は640,000千円程度:鉄道事業営業損失額がそれを下回る場合は損失額を上限)
- ・令和6年～・・・第三種鉄道事業者として、施設管理に関する費用を負担。
(令和3年度より具体的な内容を協議)
- ・負担額は、国庫補助を除いた自治体負担分を県と沿線市町(1:1)として負担。
(沿線市町間の負担比率は継続協議)

3 今後の予定

(令和2年度)

- ・第6回再生協議会・・・「地域公共交通計画(案)」の協議等
- ・覚書締結・・・決定事項の合意確認

(令和3年度)

- ・「(仮称)近江鉄道沿線地域公共交通計画」の策定
- ・施設管理団体の立ち上げ準備
- ・自治体も参画した利用促進や運営改善の計画、実施

(令和4年度)

- ・自治体による近江鉄道への本格的財政支援の開始
- ・第3種鉄道事業者となりうる施設管理団体の設立

(令和5年度)

- ・鉄道事業再構築実施計画の策定

(令和6年度)

- ・上下分離スタート

※現在までの検討経過、会議資料は滋賀県のホームページに掲載されております。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/koutsu/305179.html>

令和3年4月1日改正版甲賀市公共交通連携時刻表の作成について

(エリア版：B3 サイズ2つ折り)

- ・作成部数・・・水口地域 11200 部、土山地域 2500 部、甲賀地域 3500 部、甲南地域 7000 部、信楽地域 4200 部
- ・配布方法・・・3 月区長文書にて、それぞれお住まいのエリア別に全戸配布

[illegible]

(ポケット版：縦182mm 横115mm)

- ・作成部数・・・17000部
- ・配布方法・・・バス車内、鉄道駅、図書館、市役所、市の主要な出先機関

[illegible]

3 市内の公共交通について

(1) 甲賀市コミュニティバス・コミュニティタクシーの利用状況

「問 18」 あなたは、甲賀市コミュニティバスやコミュニティタクシーを利用したことがありますか。
(○は1つだけ)

甲賀市コミュニティバスやコミュニティタクシーの利用状況は、「どちらも利用したことがない」が 68.6%で最も多くなっており、以下、「コミバスはある(タクシーはなし)」が 25.3%、「どちらも利用したことがある」が 3.2%、「コミタクはある(バスはない)」が 1.0%と続いている。「どちらも利用したことがある」と「コミバスはある(タクシーはなし)」「コミタクはある(バスはない)」を合わせた『利用したことあり』は 29.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらも利用したことがない」が最も多くなっている。『利用したことあり』の割合をみると、男性は 27.8%、女性は 30.6%となっている。20 歳代以下は「どちらも利用したことがある」「コミバスはある(タクシーはなし)」が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「どちらも利用したことがない」が最も多くなっている。『利用したことあり』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 47.3%、以下、50 歳代で 33.5%、70 歳以上で 28.6%と続いている。

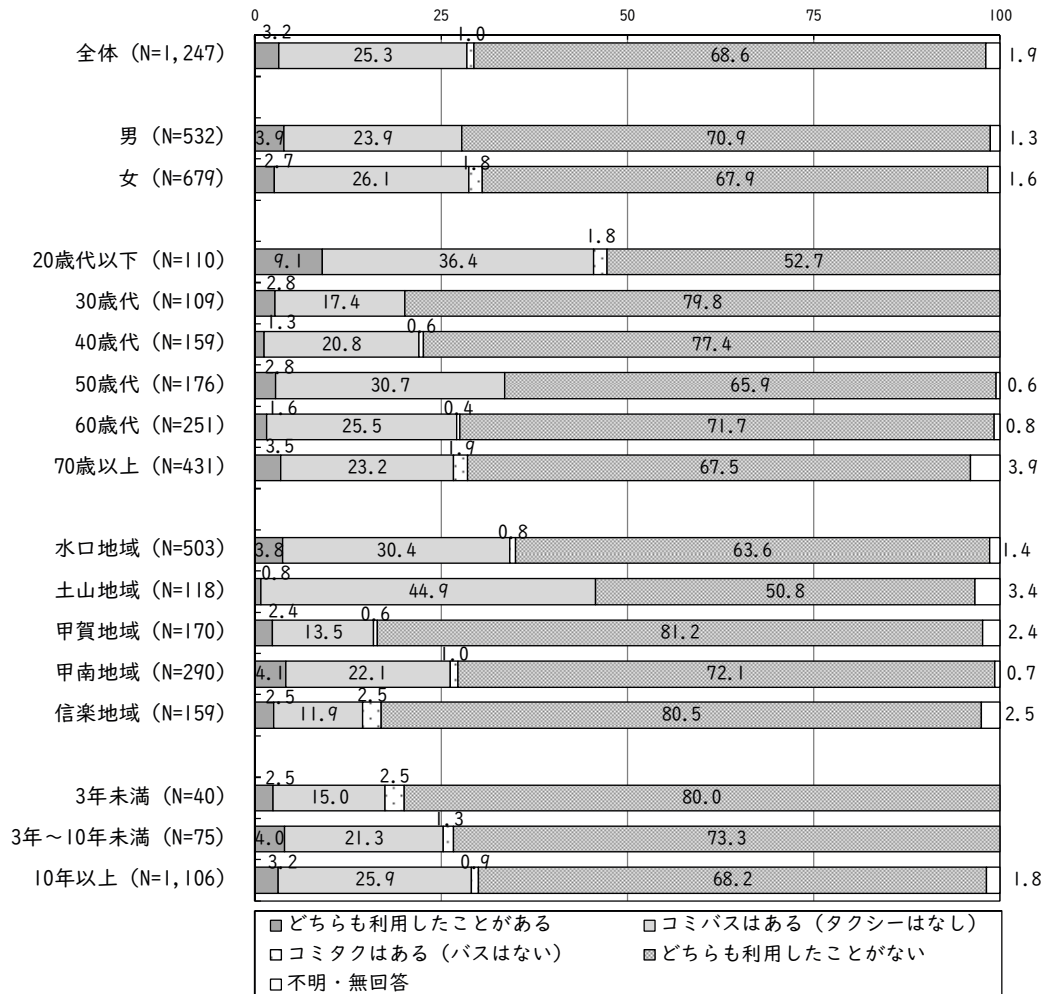
居住地域別にみると、すべての地域において「どちらも利用したことがない」が最も多くなっている。『利用したことあり』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 45.7%、以下、水口地域で 35.0%、甲南地域で 27.2%、信楽地域で 16.9%、甲賀地域で 16.5%と続いている。水口地域、土山地域は「コミバスはある(タクシーはなし)」が多く、甲賀地域、信楽地域は少なくなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「どちらも利用したことがない」が最も多くなっている。『利用したことあり』の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 30.0%、以下、3 年～10 年未満で 26.6%、3 年未満で 20.0%と続いている。3 年未満では「コミバスはある(タクシーはなし)」が少なくなっている。

甲賀市コミュニティバスやコミュニティタクシーの利用状況

(単数回答)

(%)

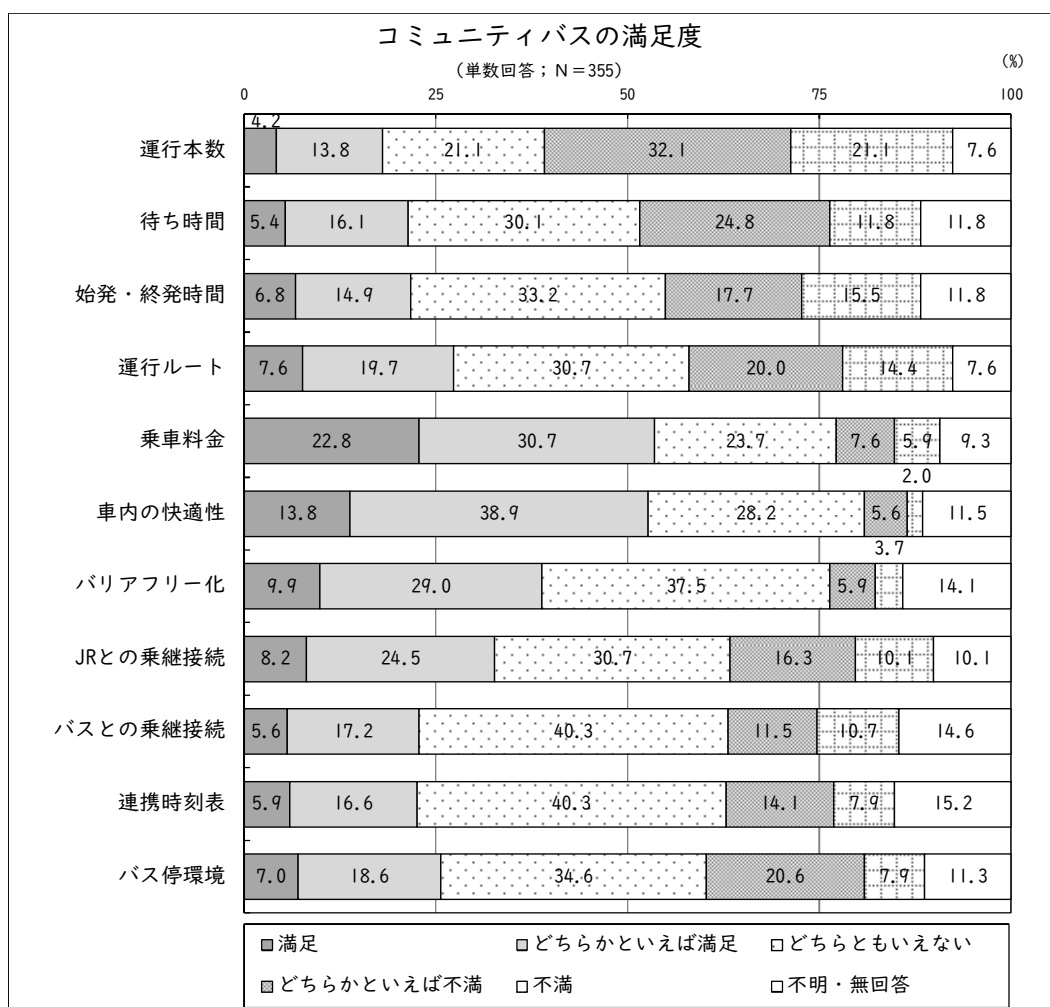


<問 18-1> 問 18 で「どちらも利用したことがある」「コミバスはある(タクシーはなし)」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたは、コミュニティバスについてどの程度満足されていますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

① コミュニティバスの満足度

コミュニティバスの満足度について、「満足」が最も多いのは「乗車料金」で 22.8%、以下、「車内の快適性」で 13.8%、「バリアフリー化」で 9.9%と続いている。

「不満」が最も多いのは「運行本数」で 21.1%、以下、「始発・終発時間」で 15.5%、「運行ルート」で 14.4%と続いている。



② 運行本数

運行本数は、「どちらかといえば不満」が32.1%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」「不満」が21.1%、「どちらかといえば満足」が13.8%、「満足」が4.2%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は18.0%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば不満」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は18.3%、女性は17.9%となっている。女性は「不満」が多くなっている。

年代別にみると、60歳代では「どちらともいえない」が、他の年代では「どちらかといえば不満」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下、60歳代で22.0%、以下、70歳以上で19.1%と続いている。20歳代以下では「満足」が多くなっている。

居住地域別にみると、土山地域では「どちらともいえない」が、他の地域では「どちらかといえば不満」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で26.0%、以下、水口地域で17.5%、信楽地域で17.3%、甲南地域で17.1%、甲賀地域で11.1%と続いている。信楽地域では「不満」が多くなっている。



③ 待ち時間

待ち時間は、「どちらともいえない」が 30.1%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば不満」が 24.8%、「どちらかといえば満足」が 16.1%、「不満」が 11.8%、「満足」が 5.4%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 21.5%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 23.0%、女性は 21.0%となっている。女性は「不満」が多くなっている。

年代別にみると、40 歳代以下では「どちらかといえば不満」が、50 歳代以上では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 29.5%、以下、20 歳代以下で 28.0%、50 歳代で 18.7%と続いている。30 歳代は「不満」が少なくなっている。

居住地域別にみると、甲賀地域、甲南地域では「どちらかといえば不満」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で 26.1%、以下、水口地域で 22.7%、土山地域で 22.2%、甲南地域で 19.8%、甲賀地域で 14.8%と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。



④ 始発・終発時間

始発・終発時間は、「どちらともいえない」が33.2%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば不満」が17.7%、「不満」が15.5%、「どちらかといえば満足」が14.9%、「満足」が6.8%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は21.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は21.6%、女性は21.5%となっている。男性は「どちらかといえば不満」が多く、女性は「不満」が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で34.0%、以下、30歳代で22.7%、60歳代で22.0%と続いている。20歳代以下は「満足」が多く、「どちらかといえば不満」が少なくなっている。40歳代は「不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で27.8%、以下、水口地域で22.7%、信楽地域で21.7%、甲南地域で18.5%、甲賀地域で14.8%と続いている。



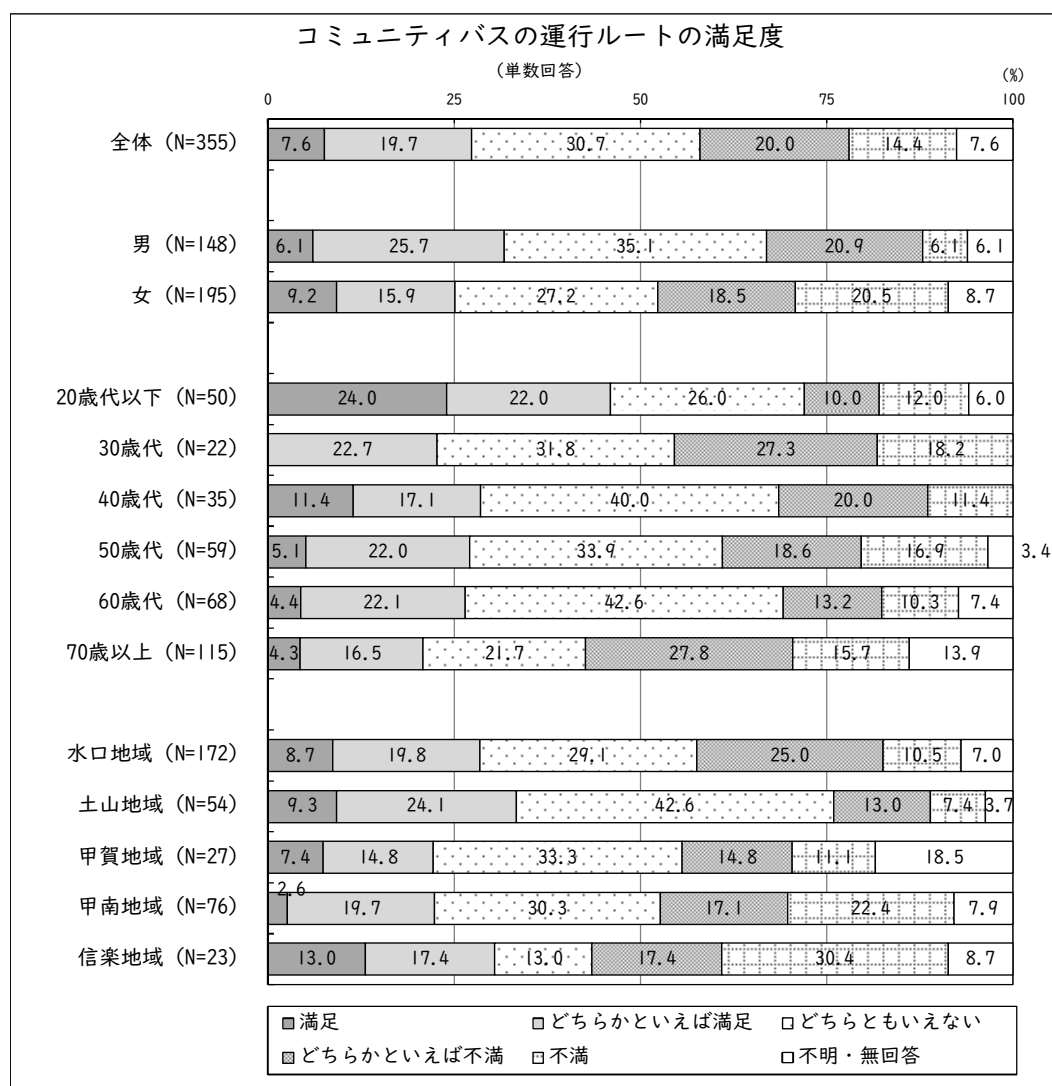
⑤ 運行ルート

運行ルートは、「どちらともいえない」が 30.7%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば不満」が 20.0%、「どちらかといえば満足」が 19.7%、「不満」が 14.4%、「満足」が 7.6%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 27.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 31.8%、女性は 25.1%となっている。男性は「どちらかといえば満足」が多く、女性は「不満」が多くなっている。

年代別にみると、70 歳以上では「どちらかといえば不満」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 46.0%、以下、40 歳代で 28.5%、50 歳代で 27.1%と続いている。20 歳代以下は「満足」が多く、30 歳代は「満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、信楽地域では「不満」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 33.4%、以下、信楽地域で 30.4%、水口地域で 28.5%、甲南地域で 22.3%、甲賀地域で 22.2%と続いている。甲南地域では「満足」が少なく、甲賀地域では「満足」が多くなっている。



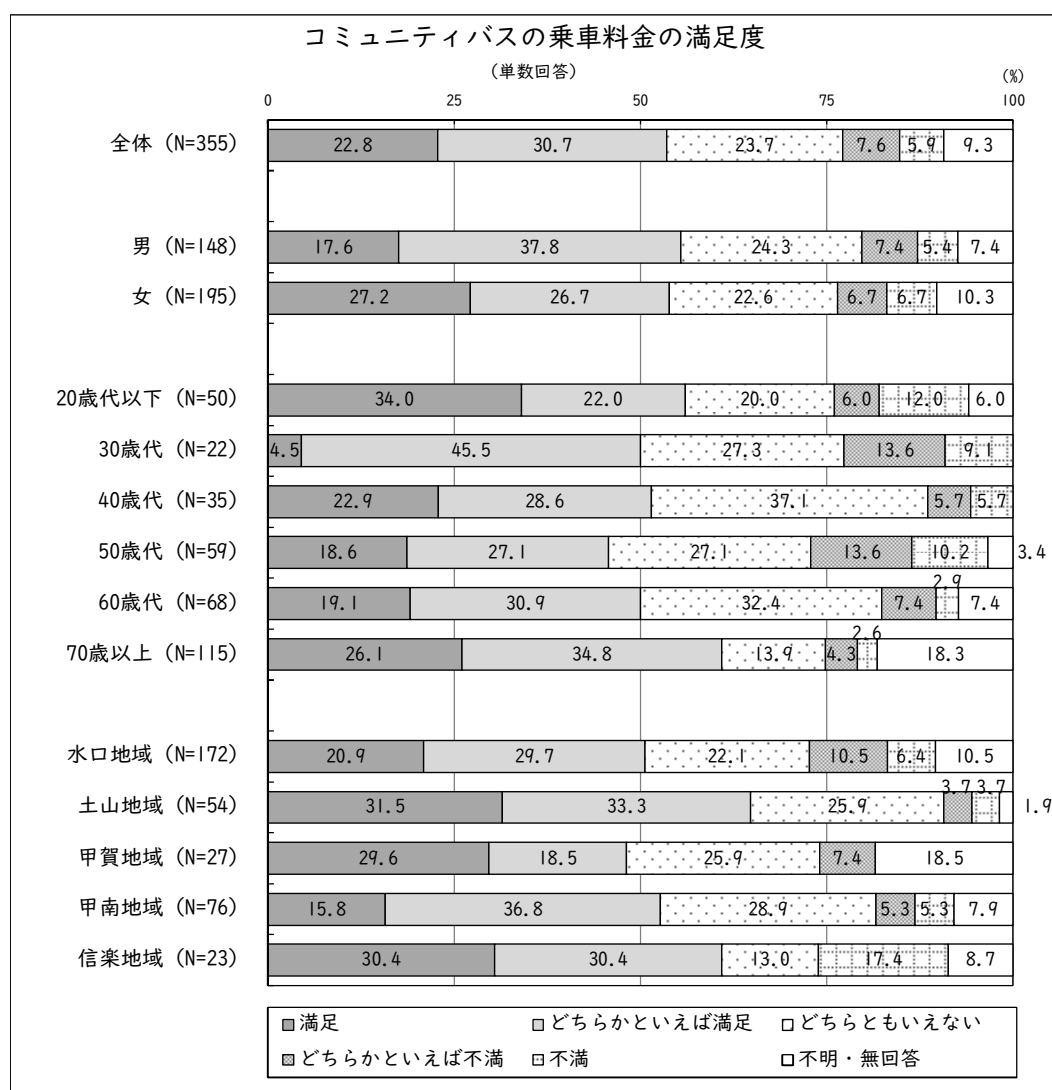
⑥ 乗車料金

乗車料金は、「どちらかといえば満足」が30.7%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が23.7%、「満足」が22.8%、「どちらかといえば不満」が7.6%、「不満」が5.9%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は53.5%となっている。

性別にみると、男性は「どちらかといえば満足」が、女性は「満足」が、最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は55.4%、女性は53.9%となっている。

年代別にみると、20歳代以下では「満足」が、40歳代では、60歳代では「どちらともいえない」が、他の年代では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で60.9%、以下、20歳代以下で56.0%、40歳代で51.5%と続いている。

居住地域別にみると、甲賀地域、信楽地域では「満足」が、他の地域では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で64.8%、以下、信楽地域で60.8%、甲南地域で52.6%、水口地域で50.6%、甲賀地域で48.1%と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。



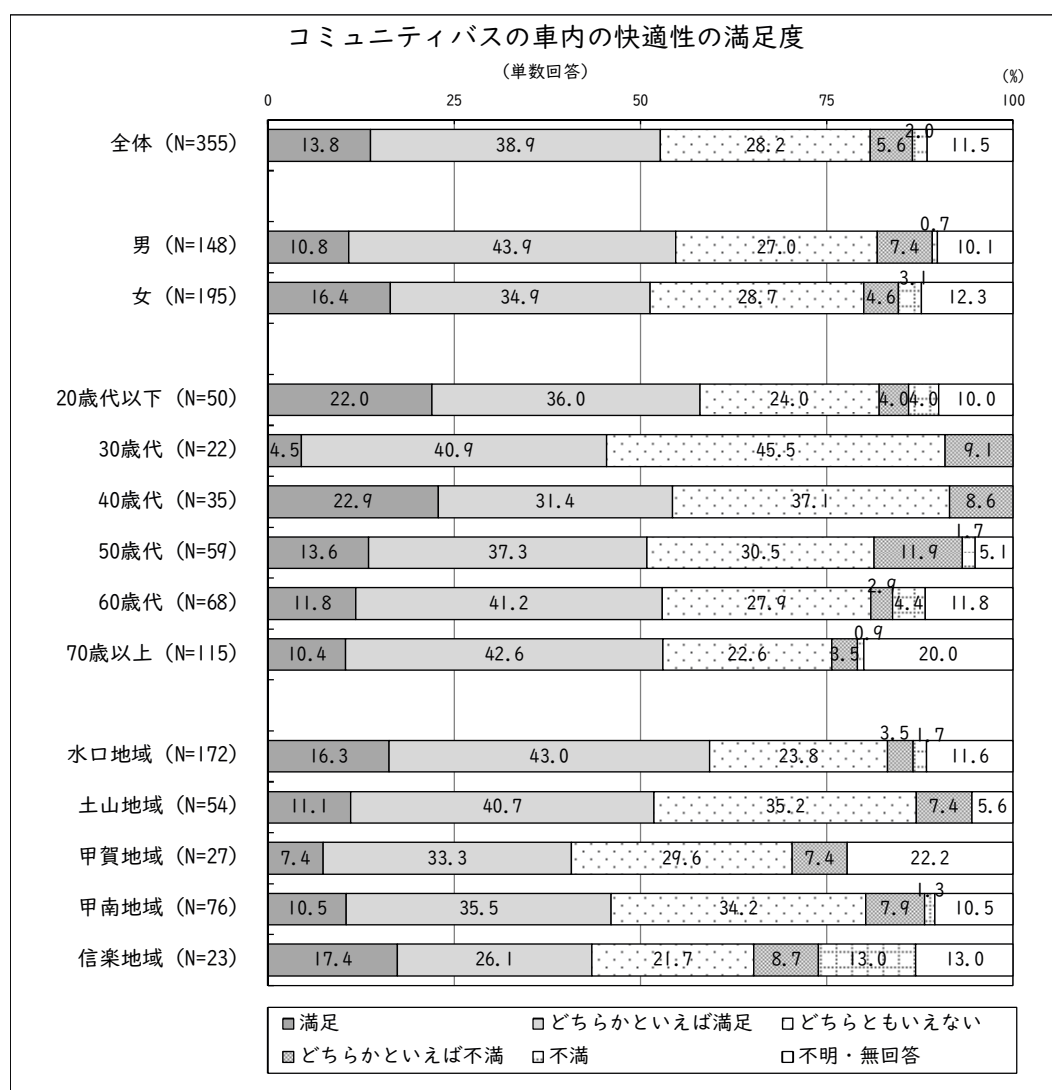
⑦ 車内の快適性

車内の快適性は、「どちらかといえば満足」が 38.9%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が28.2%、「満足」が13.8%、「どちらかといえば不満」が5.6%、「不満」が2.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は52.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は54.7%、女性は51.3%となっている。女性は「満足」が多くなっている。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代では「どちらともいえない」が、他の年代では「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 58.0%、以下、40 歳代で 54.3%、60 歳代、70 歳以上で 53.0%、と続いている。30 歳代は「満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 59.3%、以下、土山地域で 51.8%、甲南地域で 46.0%、信楽地域で 43.5%、甲賀地域で 40.7%と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。



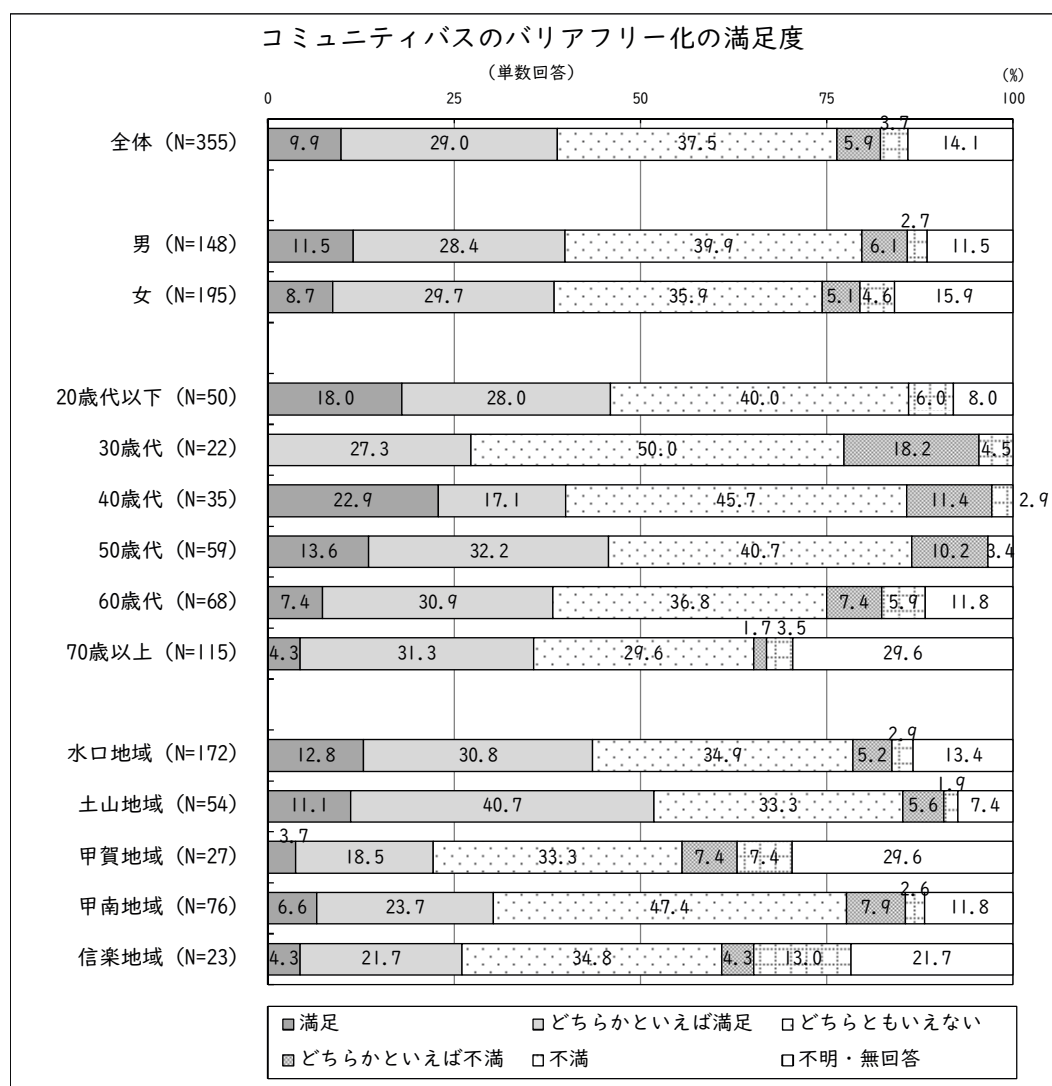
⑧ バリアフリー化

バリアフリー化は、「どちらともいえない」が 37.5%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 29.0%、「満足」が 9.9%、「どちらかといえば不満」が 5.9%、「不満」が 3.7%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 38.9%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 39.9%、女性は 38.4%となっている。

年代別にみると、70 歳以上では「どちらかといえば満足」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 46.0%、以下、50 歳代で 45.8%、40 歳代で 40.0%と続いている。20 歳代、40 歳代は「満足」が多く、30 歳代は「満足」が少なくなっている。

居住地域別にみると、土山地域では「どちらかといえば満足」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 51.8%、以下、水口地域で 43.6%、甲南地域で 30.3%、信楽地域で 26.0%、甲賀地域で 22.2%と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。



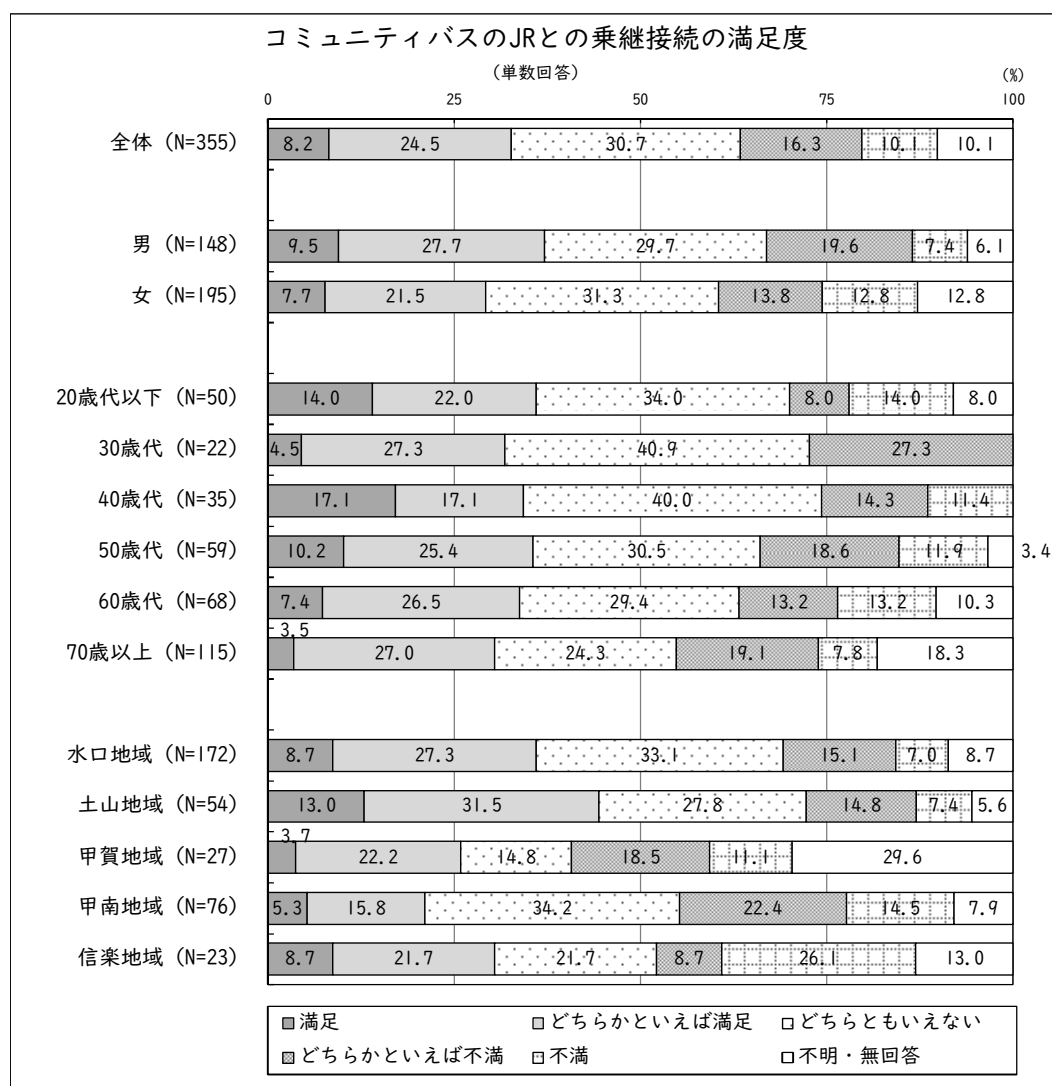
⑨ JR との乗継接続

JR との乗継接続は、「どちらともいえない」が 30.7%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえ
ば満足」が 24.5%、「どちらかといえは不満」が 16.3%、「不満」が 10.1%、「満足」が 8.2%と続いて
いる。「満足」と「どちらかといえは満足」を合わせた『満足』は 32.7%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみる
と、男性は 37.2%、女性は 29.2%となっている。男性は「どちらかといえは不満」が多く、女性は「不
満」が多くなっている。

年代別にみると、70 歳以上では「どちらかといえは満足」が、他の年代では「どちらともいえない」が
最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 36.0%、以下、50 歳代で
35.6%、40 歳代で 34.2%と続いている。30 歳代は「どちらかといえは不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、土山地域では「どちらかといえは満足」が、信楽地域では「不満」が、他の地域
では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で
44.5%、以下、水口地域で 36.0%、信楽地域で 30.4%、甲賀地域で 25.9%、甲南地域で 21.1%
と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。



⑩ バスとの乗継接続

バスとの乗継接続は、「どちらともいえない」が 40.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 17.2%、「どちらかといえば不満」が 11.5%、「不満」が 10.7%、「満足」が 5.6%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 22.8%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 27.7%、女性は 20.0%となっている。女性は「不満」が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 36.0%、以下、40 歳代で 31.5%、50 歳代で 22.1%と続いている。30 歳代は「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 33.4%、以下、水口地域で 24.4%、信楽地域で 21.7%、甲南地域で 15.7%、甲賀地域で 14.8%と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。



⑪ 連携時刻表

連携時刻表は、「どちらともいえない」が 40.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 16.6%、「どちらかといえば不満」が 14.1%、「不満」が 7.9%、「満足」が 5.9%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 22.5%となっている。女性は「不満」が多くなっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 25.0%、女性は 21.0%となっている。

年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 32.0%、以下、40 歳代で 28.6%、50 歳代で 25.5%と続いている。30 歳代は「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、信楽地域では「どちらかといえば満足」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 31.5%、以下、信楽地域で 30.4%、水口地域で 25.6%、甲南地域で 11.9%、甲賀地域で 11.1%と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。



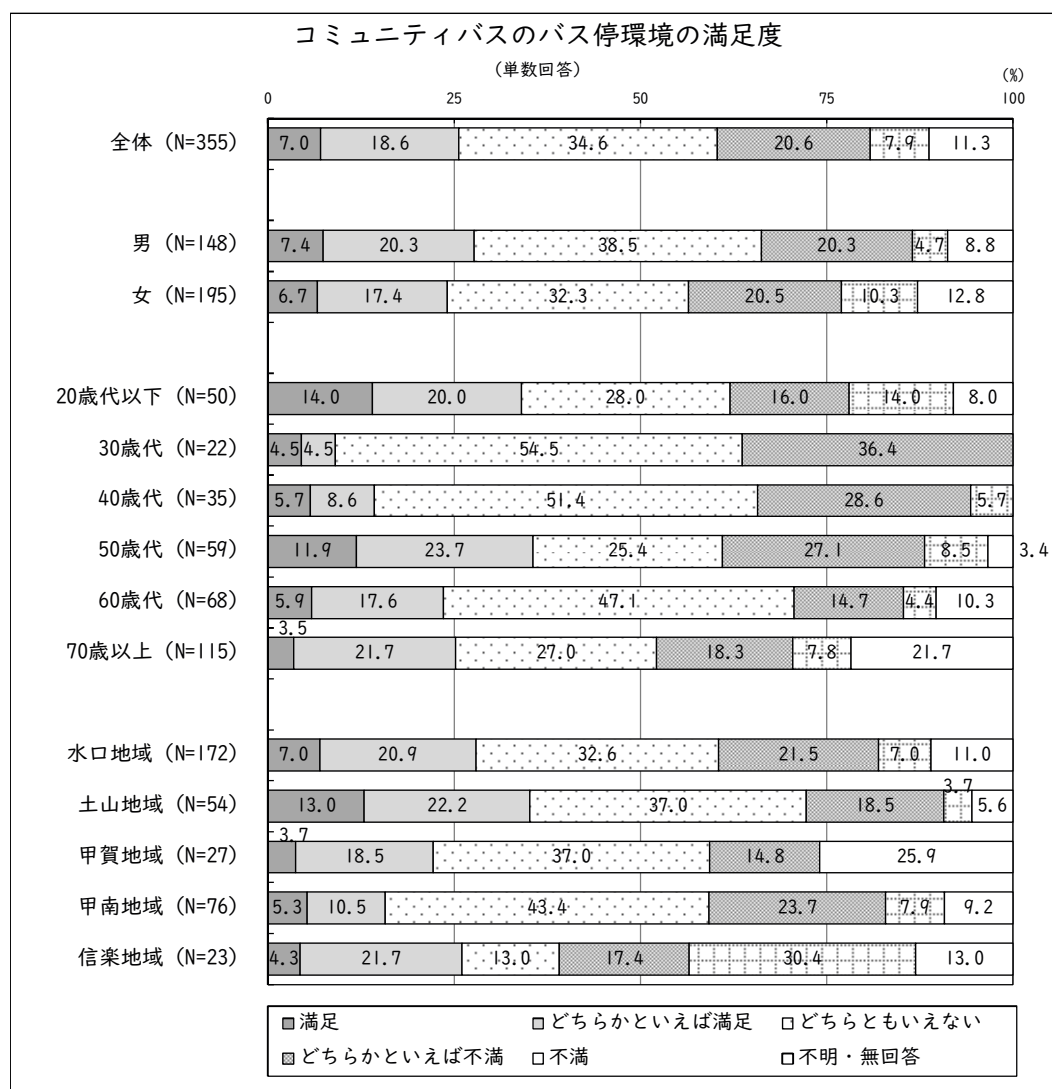
⑫ バス停環境

バス停環境は、「どちらともいえない」が 34.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば不満」が 20.6%、「どちらかといえば満足」が 18.6%、「不満」が 7.9%、「満足」が 7.0%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 25.6%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 27.7%、女性は 24.1%となっている。女性は「不満」が多くなっている。

年代別にみると、50 歳代では「どちらかといえば不満」が、他の年代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 50 歳代で 35.6%、以下、20 歳代以下で 34.0%、70 歳以上で 25.2%と続いている。30 歳代、40 歳代は「どちらかといえば満足」が少なく、「どちらかといえば不満」が多くなっている。

居住地域別にみると、信楽地域は「不満」が、他の地域では「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 35.2%、以下、水口地域で 27.9%、信楽地域で 26.0%、甲賀地域で 22.2%、甲南地域で 15.8%と続いている。信楽地域は「不満」が多くなっている。

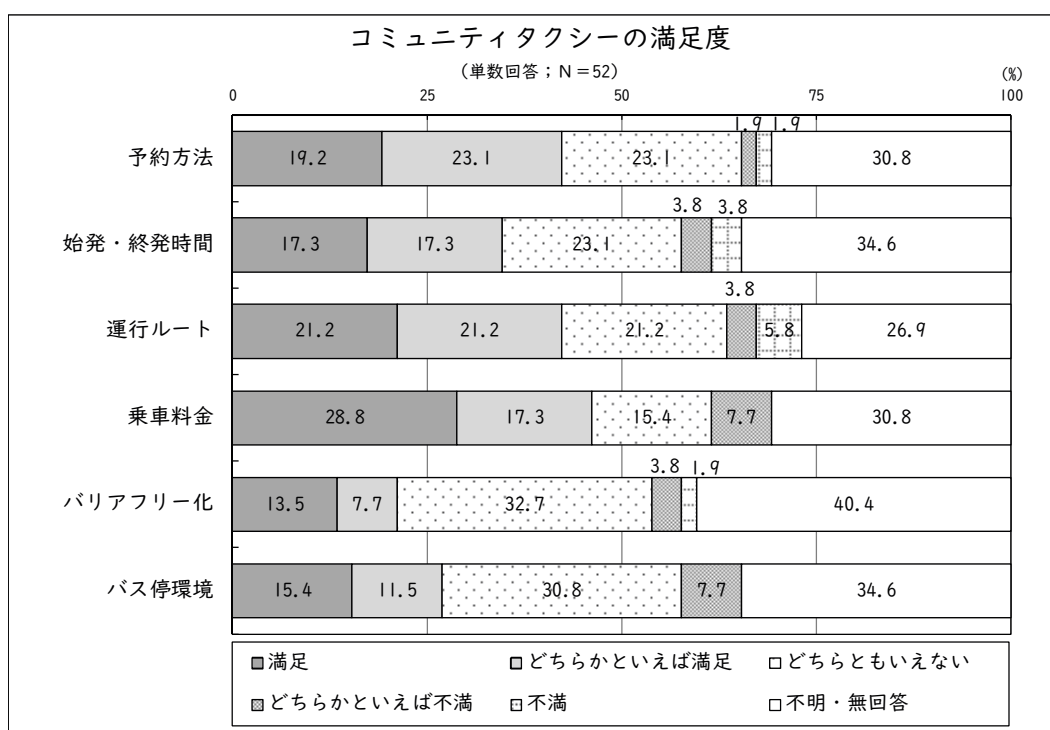


<問 18-2> 問 18 で「どちらも利用したことがある」「コミタクはある(バスはない)」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたは、コミュニティタクシーについてどの程度満足されていますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

⑬ コミュニティタクシーの満足度

コミュニティタクシーの満足度について、「満足」が最も多いのは「乗車料金」で 28.8%、以下、「運行ルート」で 21.2%、「予約方法」で 19.2%と続いている。

「不満」が最も多いのは「運行ルート」で 5.8%、以下、「始発・終発時間」で 3.8%、「予約方法」「バリアフリー化」で 1.9%、と続いている。



(2) パーク&ライド等の取り組みの認知状況

《問 19》 あなたは、地域公共交通と他の交通手段との乗り継ぎ利便性を向上させるパーク&ライド等の取り組みを甲賀市が実施していることをご存じですか。(○は1つだけ)

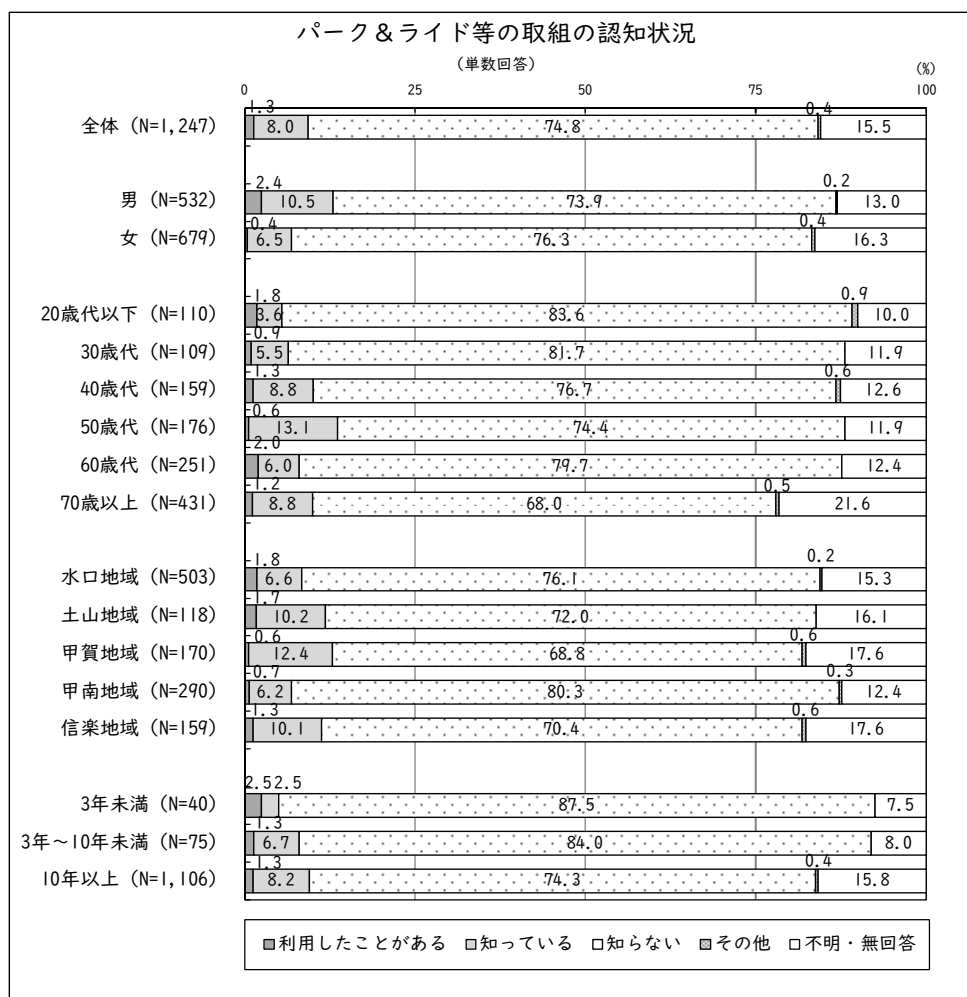
パーク&ライド等の取組の認知状況は、「知らない」が 74.8%で最も多くなっており、以下、「知っている」が 8.0%、「利用したことがある」が 1.3%と続いている。「利用したことがある」と「知っている」を合わせた『認知している』は 9.3%となっている。

性別にみると、男性、女性ともに「知らない」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、男性は 12.9%、女性は 6.9%となっている。

年代別にみると、すべての年代において「知らない」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは50歳代で13.7%、以下、40歳代で10.1%、70歳以上で10.0%と続いている。50歳代の「知っている」が多くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「知らない」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で13.0%、以下、土山地域で11.9%、信楽地域で11.4%、水口地域で8.4%、甲南地域で6.9%と続いている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「知らない」が最も多くなっている。『認知している』の割合をみると、最も多いのは10年以上で9.5%、以下、3年～10年未満で8.0%、3年未満で5.0%と続いている。3年未満の「知っている」が少なくなっている。



(3) ダイヤ改正時に配布の時刻表の表示や配布について

「問 20」 あなたは、ダイヤ改正時に配布している時刻表の表示や配布について、どのように思われていますか。(○は1つだけ)

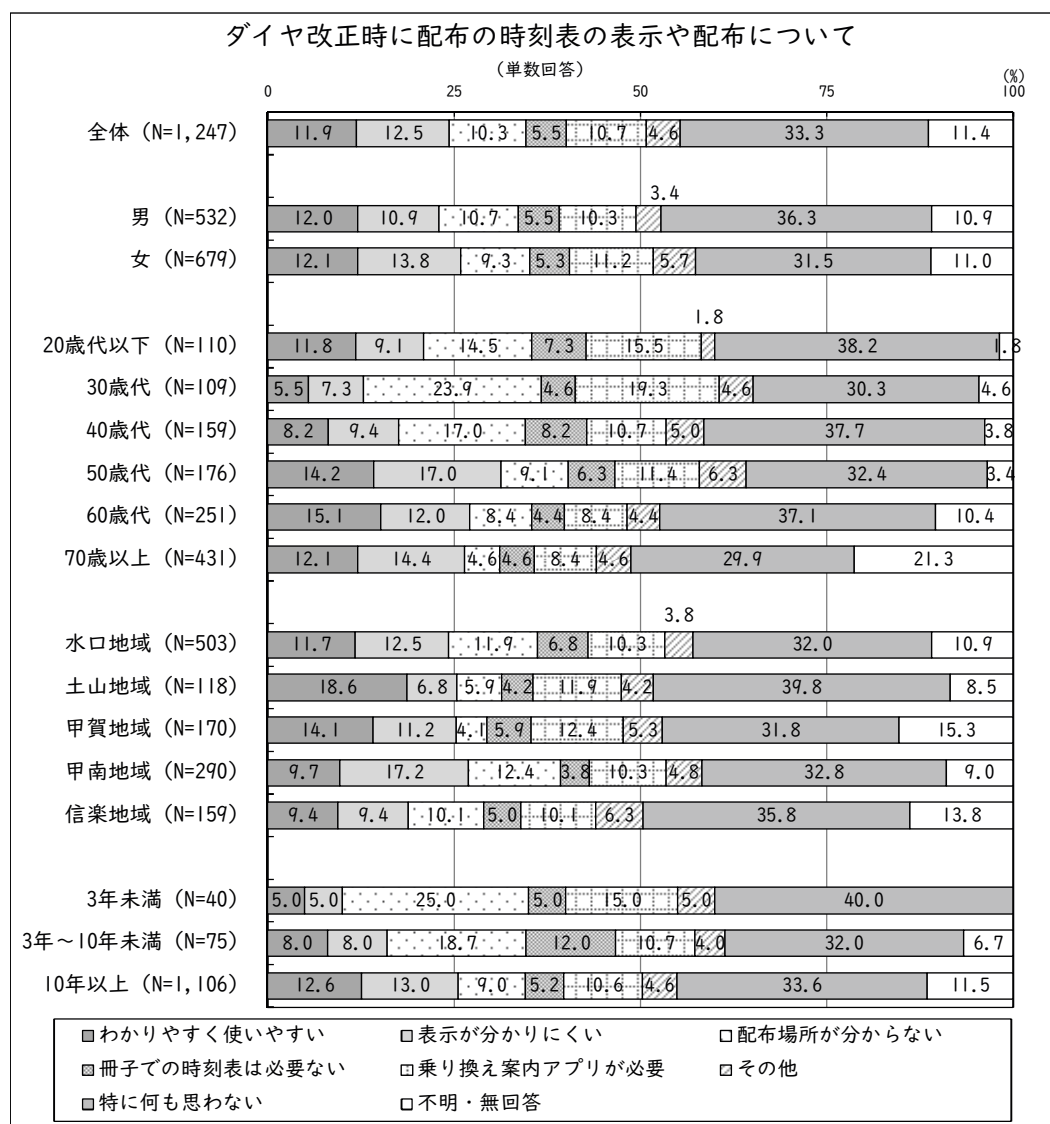
ダイヤ改正時に配布の時刻表の表示や配布については、「特に何も思わない」が 33.3%で最も多くっており、以下、「表示が分かりにくい」が 12.5%、「わかりやすく使いやすい」が 11.9%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「特に何も思わない」が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「特に何も思わない」が多くなっている。30 歳代は「配布場所が分からない」「乗り換え案内アプリが必要」が多く、「わかりやすく使いやすい」が少なくなっている。

居住地域別にみると、すべての地域において「特に何も思わない」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「特に何も思わない」が多くなっている。10 年未満は「配布場所が分からない」が多くなっている。



(4) 市内の公共交通機関について最も求めること

「問 21」 あなたが、現在の市内公共交通機関について最も求めることはどのようなことですか。
(○は1つだけ)

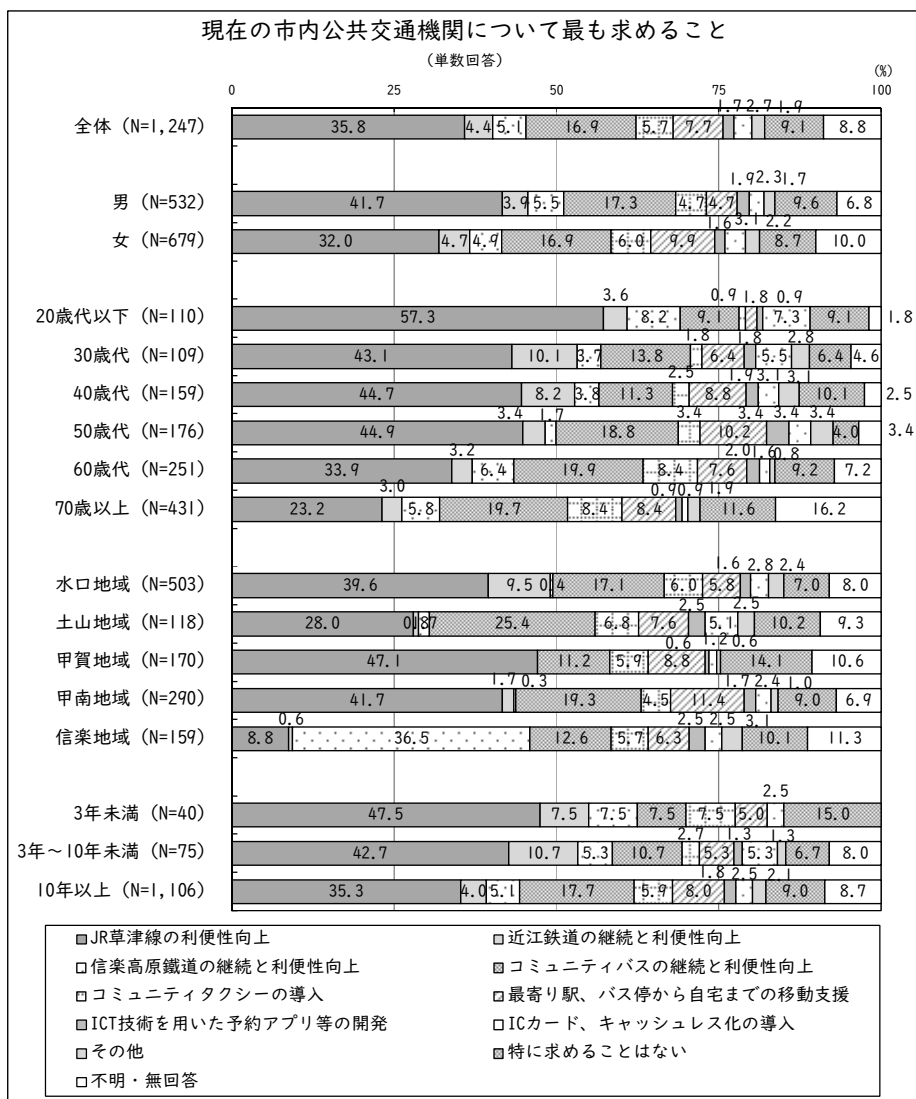
現在の市内公共交通機関について最も求めることは、「JR 草津線の利便性向上」が35.8%で最も多くなっており、以下、「コミュニティバスの継続と利便性向上」が16.9%、「特に求めることはない」が9.1%と続いている。

性別にみると、男性、女性ともに「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。女性は「最寄り駅、バス停から自宅までの移動支援」が多くなっている。

年代別にみると、すべての年代において「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。30 歳代は「近江鉄道の継続と利便性向上」が多くなっている。

居住地域別にみると、信楽地域では「信楽高原鐵道の継続と利便性向上」が、他の地域では「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。水口地域は「近江鉄道の継続と利便性向上」が、土山地域は「コミュニティバスの継続と利便性向上」が多くなっている。

甲賀市の居住歴別にみると、すべての居住歴において「JR 草津線の利便性向上」が最も多くなっている。3 年～10 年未満は近江鉄道の継続と利便性向上」が多くなっている。



バスロケーションシステムの運用開始について

(1) 概要

コミュニティバスの利便性を向上させ利用促進につなげるため、GPSを活用したバスロケーションシステムの導入、乗降データの収集、デジタルサイネージ(電子看板)の設置を行います。

(2) 運用開始日

令和3年3月1日(月)

(3) 実施内容

①GPSを活用したバスロケーションシステムの導入

バス車両にGPS車載器を搭載し、コミュニティバスの運行情報を全線でリアルタイムに提供します。

●主な利用方法

- ・バス停に貼付けられたQRコードをスマートフォンで読み取ることにより、到着予定のバスの一覧と行き先、現在位置などが表示されます。
- ・普段利用するバス停をお気に入り登録をすることにより、自宅等からでも運行情報の確認ができます。



※システム構築中につき、画面はイメージ。

●表示内容

- ・運行情報（バス現在位置・遅れ等）、混雑情報（「混雑」・「やや混雑」・「空席あり」の3段階表示）、英語表示

●その他

- ・専用のスマートフォンアプリで、バイブと音による接近情報の通知が可能。

②乗降センサーによる利用状況の把握

バス車両に乗降センサーを設置し、バス停ごとの乗降人数のデータを取得することで、混雑度を把握して表示するほか、取得した乗降データを利用性の高い路線への再編等に活用します。



センサーカメラ



③デジタルサイネージ（電子看板）の設置

主要な拠点にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、バスの運行情報の表示や乗り場案内等に活用します。

●設置場所

貴生川駅バス停前、信楽駅待合室、甲賀病院ロビー、市役所（ロビー・東側出入口付近）

●表示内容

- ・運行情報（バス現在位置・遅れ等）、
- ・混雑情報（「混雑」・「やや混雑」・「空席あり」の3段階表示）
- ・乗り場案内（市役所・貴生川駅）、観光情報
- ・英語表示



貴生川駅設置場所



サイネージ画面のイメージ

(4) 市民への周知

バス停へのQRコードの貼付け、バス車内掲示、広報紙、市ホームページ、チラシ配布、ケーブルテレビ等により周知を行います。

(5) その他

本事業は、市スマートシティ推進事業による補助、国・県の補助金の交付を受けて、コミュニティバス運行受託者である滋賀バス（株）および（株）シガ・エージェンツシステムが事業主体となり実施。

(6) 市民への周知

広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビ等により周知を行う他、令和3年4月1日改正甲賀市公共交通連携時刻表（コミュニティバス時刻表）へ利用方法を掲載します。

コミュニティバス情報の Google マップ登録について

・市では、国土交通省が策定した標準フォーマット(GTFS-JP)に対応したコミュニティバス運行情報を作成し、Google マップへ登録し、マップ上で、コミュニティバスの乗換検索ができるようになりました。

市内でのバス移動はもちろんのこと、出発地と目的地を入力するだけで、最寄りのバス停までの経路やバスの乗継情報なども一目でわかるようになりました。

・最寄りのバス停や駅がわからない場合でも、出発地と目的地を入力するだけで、最寄りのバス停までの経路やバスや鉄道などの乗継情報が検索できます。

※甲賀市ホームページの「公共交通推進課」内にもご利用方法の説明があります。

○ Google マップ検索結果イメージ

